

乗鞍岳のオンタケヌレチゴミムシ

森田誠司*

Apenetretus ambiguus (BATES) from Mt. Norikura-dake,
Central Honshu, Japan

Seiji MORITA

わが国において、ヌレチゴミムシ亜科Patrobinaeに属する甲虫は、およそ20種が知られている。その大部分は、山地性ないし高山性で後翅が退化し、分布も限られている。この亜科を大別すると、陰茎が溝状で背面に膜質部が広く認められる群 (Deltomerini) と、管状に近く左右の側壁が背面で接近することを特徴とする群 (Patrobini) とにわけることができる。わが国の山地性のヌレチゴミムシに限ってみれば、前者に属するものはすべて、第5跗節下面の刺毛を欠くことで後者とは容易に区別することができる。しかしながら、体形や各部がたがいによく似ているので、外部形態で種を識別することは不可能に近い。ただ、雄の交尾器には種の識別に役立ち、系統関係を示す特徴がよくあらわれるので、分類同定に際しては、よく成熟した雄の標本が必要不可欠である。

最近、岐阜県博物館の長谷川道明氏のご好意で、同氏が乗鞍岳 (岐阜県～長野県) で採集されたヌレチゴミムシを研究することができた。*幸いにも研究に十分な雄の標本が含まれていたもので、近隣の地域から採集された標本と比較検討した結果、オンタケヌレチゴミムシ *Apenetretus ambiguus* (BATES) (1883, p.289) と同定することができた。かなり以前から、乗鞍岳にヌレチゴミムシの一種が生息していることは知られていたが、正式な記録がみいだせなかったもので、ここに本種を記録し、簡単に再記載しておきたい。

Apenetretus ambiguus (BATES)

〔オンタケヌレチゴミムシ〕

(図 1-6)

体長: 8.5~9.6mm (頭盾前縁から翅端まで)。

体は、他のヌレチゴミムシ類に比べてやや細長。体色は黒褐色。頭盾前縁、上唇、触角、肢、腹節は褐色～赤褐色。

頭部はやや大きく背面はよく突出する。眼は明ら。側頭のふくらみは弱い。前頭溝は、短かいが深く、後方へ開き、小さい点刻を含む。眼の内側には2対の剛毛がある (6♂♂, 9♀♀のうち1♀♀において左側後方の剛毛の近くにさらに1本の毛をもつのが認められた)。前方の剛毛は、左右の眼の中央を結んだ仮想線上にある。後方のものは、眼の後縁よりはるか後方に位置する。頸部のくびれに小さい点刻を、頭頂に微細な点刻をもつ。微細印刻は♂, ♀ともに認められない。頭盾には1対の剛毛があり、前縁は一直線である。上唇前縁は変化が多く、通常弱く湾入するがまれにはば一直線。触角は細長い、第7, 8節から末方でやや太くなる。第3節は長く、第2節の約2.2倍。

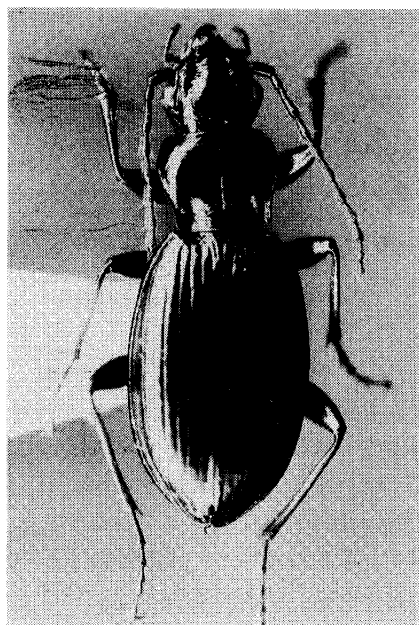


図1. *Apenetretus ambiguus* (BATES), オンタケヌレチゴミムシ, ♂, 乗鞍岳産。

前胸背板はやや横位で、弱く隆まるが基部で平圧される。前縁はほぼ一直線。前角はほとんど突出せず、先端は幅広く丸まる。側縁は適度に弯曲し、前方3/8でもっとも幅広く、後角の前で波曲し短かいながら平行する。基縁は前縁よりわずかに幅広、一直線であるが後角近くで弱く斜断される。後角は直角または鈍角で、先端は鈍い。基部縦隆は欠如するか、きわめて痕跡的である。前方の縁毛は最大幅の位置より少し前方に位置し、付加毛をつねに欠如する。後角毛は後角よりわずかに前方に位置する。基部凹陷は比較的広く凹み、しわと点刻をそなえる。正中線は明瞭、前縁よりはるか後方で消失するが、基部にはまれに接近する。前方の横溝は不明瞭であるが、小さい点刻を散布する。微細印刻は不明瞭であるか、部分的に横長の網目状である。

上翅は長円形。長さは幅の約1.66倍。背面は適度に隆まる。条線は浅く弱く刻まれる。基部小条はやや長く明らか。基部（第2～4間室の基部に相当する部分）は圧せられ、その部分の条線は消失する。間室は平らかひじょうに弱く隆まる。第3間室に、第3条に接して通常3孔点、まれに2孔点をもつ。側縁は弱く弯曲し、ほぼ中央附近でもっとも幅広。翅端前の波曲は弱い。翅端は単純に丸まり、やや離開することがある。斜め後方よりみて、肩部は鈍く小歯状に突出する。微細印刻は等径的～やや横長の網目状で、♂、♀ともに明瞭に認められる。

咽頭の外側、前胸腹板、前胸側板、中胸腹板、中胸前側板などに粗大点刻を散布する。腹節の毛の数には変異が多い。末端節は通常♂で1対、♀で2対の毛をもつが、2♀♀では片側において1本の毛を欠如する。他の腹節には♂、♀ともに通常1対の毛があるが、半数近くの個体で、いずれかの1節に1本の付加毛をもつ。また毛の位置の異常（外縁近くに移動）もまれにみられる。

陰茎は適度にキチン化され、幅広の基部から徐々に先端部へ向かってせばまり、右方へ弱く傾斜する。基方1/4で強く屈曲する。前述のとおり、背面は広く膜質部におおわれている。先端部は背面よりみて単純に丸まるが、側面よりみて斜め上方および下方へそれぞれ突出し、先端が鈍く丸まる。

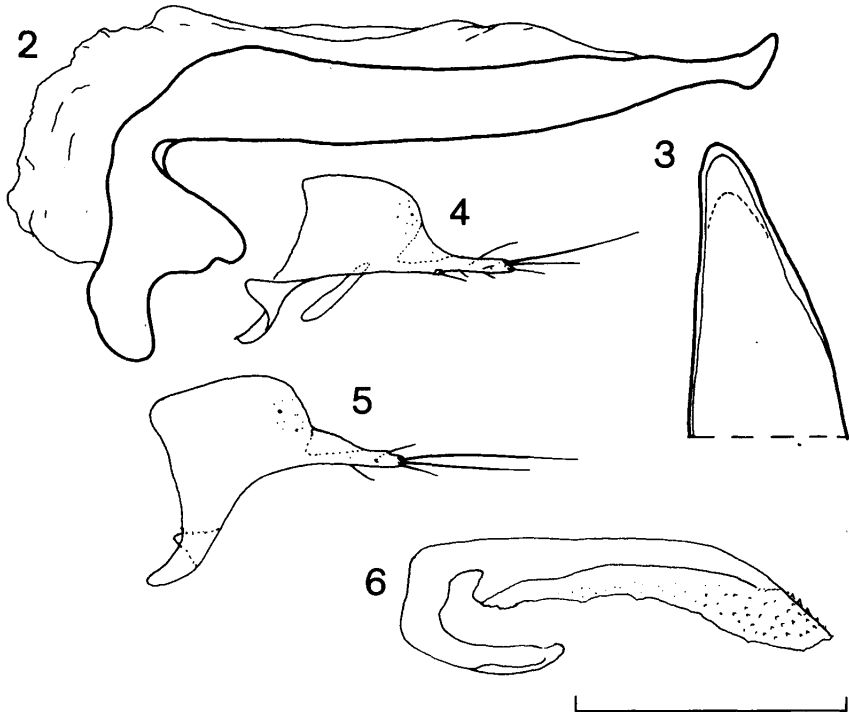


図2—6. *Apenetretus ambiguus* (BATES), オンタケヌレチゴミムシの雄交尾器：2, 陰茎(左側面)；3, 同先端 $\frac{1}{2}$ (背面)；4, 右側片(左側面)；5, 左側片(左側面)；6, 骨片(背面)。(スケール：1mm.)

内部には1骨片をそなえる。骨片は比較的強くキチン化し、陰茎の基方1/4の背面に位置する。細長いL字型で、右片が左片より長い。左右の側片はキチン化が弱く、扁平、幅広で、先端部が細長く伸長する。そして、それぞれにキチン化のきわめて弱い楕円形～長円形の付属片をそなえる。図示した個体は、左付属片はキチン化がひじょうに弱く、境界も不明瞭であった。先端または先端部に長毛、短毛をそなえるが、その数、位置、長さにはかなりの変異があるようである。

〔検視標本〕

7♂♂, 9♀♀, 岐阜県大野郡丹生川村乗鞍岳。30—VII—1988, 長谷川道明採集。

今回調査することのできた個体は、すべて山頂附近(2800m)の雪溪の周辺の石の下より採集された。

今後の問題点として次の2点をあげておきたいと思う。

1) 従来、*Deltomerini*に所属する属、亜属を区別するために、頭部、側頭、前胸背板、肘節背面などの毛、または細毛の有無が用いられてきた。しかし、今回検したわずかな個体でさえ、頭部、上翅、腹節において剛毛の数、位置の異常がみられた。したがって、今後どの点が安定しているのか、変異の幅を十分に追っていく必要がある。

2) 本種に近縁の種、ショウレンゲヌレチゴミムシ *A. shoorengensis* (HABU et BABA) (1962, p.143) が北アルプスの北部から知られている。この種と、北アルプスのどのあたりですみわけているのか、という点が、今のところ、よくわかっていない。筆者の手元にある標本から推測すると、オンタケヌレチゴミムシは、基産地の御岳山のほか中央アルプス、乗鞍岳に分布し、さらに分布域はもう少し北へ広がる可能性があるように思われる。

いずれにしても、同地域のみならず、周辺の地域から十分な標本を採集し、これらの点について

の解明を進める必要がある。

末筆ながら、常日頃から指導下さり、さらに今回校閲の労をとられた国立科学博物館の上野俊一博士、ならびに貴重な標本を研究のために提供して下さいった岐阜県博物館の長谷川道明氏に厚くお礼申し上げる。

参考文献

- BATES, H.W., 1883. Supplement to the geodephagous Coleoptera of Japan, chiefly from the collection of Mr. George LEWIS, made during his second visit, from February, 1880, to September, 1881. *Trans. ent. Soc. London*, 1883 : 205–290, pl. 13.
- HABU, A., & K. BABA, 1960. A new species of *Patrobus* from Mts. Iide, with the key to the *Patrobus*-species of Japan (Coleoptera, Carabidae). *Akitu, Kyoto*, 9 : 1–10.
- 1962. Two new species of *Patrobus* from Niigata Prefecture, Japan (Coleoptera, Carabidae). *Kontyû, Tokyo*, 30 : 143–147.
- KURNAKOV, V. N., 1960. Contribution à la faune des Carabiques du Caucase. II, Description de nouveaux *Deltomerus* du Caucase et note préliminaire sur la systématique des *Deltomerini*. *Rev. fr. Ent.*, 27 : 267–277.
- 森田誠司, 1985. オサムシ科 (ミズギワゴミムシ亜科, ヌレチゴミムシ亜科), 上野俊一ほか (編), 原色日本昆虫図鑑, 2 : 89–103, 保育社, 大阪.
- MORITA, S., 1986. A new *Apatrobus* (Coleoptera, Carabidae) from Mt. Tara-dake in Kyushu, West Japan. *Ent. Pap. pres. Kurosawa, Tokyo*, 143–146.